



『自由を守る会』代表 ● 上田令子発

# 自由を守る会 NEWS



● 東京都議会議員

【<http://freedom-ea.com>】情報オープン しがらみフリー

私たちはあなたの自由を守る地域政党です～無所属無党派の改革政策集団～

〒132-0033 東京都江戸川区東小松川4-57-12 tel&fax 03-5678-4707 ✉ [ueda@ueda-reiko.com](mailto:ueda@ueda-reiko.com)

## ●うえだれいこプロフィール●

東京都議会議員・地域政党『自由を守る会』代表・『地域政党サミット』副代表・『江戸川ワークマム』代表。台東区立黒門小、文京区立第六中、都立三田高、白百合女子大国文科卒。外資系生保等数社を経て起業も。結婚を機に船堀の夫実家にて3世代同居。1999年子育て応援団『江戸川ワークマム』設立。2007～12年江戸川区議会議員、2013年東京都議会議員初当選。

家族：義父母・夫・二人の息子・セキセイインコ「京ちゃん」

## ●地域政党「自由を守る会」とは●

「自由・自主・自律」の精神のもと、政府・国政に翻弄されることなく地域住民が主役となって行政と議会を動かしていくことを目的に議員・都民が結集し2014年11月設立。2015年3月北川正恭元三重県知事を顧問に迎え全国連携を図る地域政党サミット設立。地域創生型の地方分権改革・議会改革の実現を目指す。所属議員：7名。顧問：松本洋光和光市長、前参議院議員・松下幸之助元秘書江口克彦氏、前参議院議員・表現の自由を守る会会長山田太郎氏、他3名。

## 独自調査でリオ五輪 都議団ゴージャス視察を中止へ



### ●自民党都連が牛耳る議会運営理事会は都政のブラックボックス

嬉し涙、悔し涙、もらい涙のリオ五輪は、次世代選手の活躍もあり過去最多のメダルラッシュに日本中が湧き上がりました。心身をギリギリまで追い込み競技に挑戦するアスリート達と、法律違反スレスレの行為を「違法ではない」と言い張ってまで、多額の税金を使った海外視察や公用車、政党交付金の私的流用をした舛添前知事とは、人間の品格においてなんと対象的だったことでしょうか。



TBS「あさチャン!サタデー」上/上田令子 下/宇田川さとし議会運営委員長(当時)

一方の都議会はというと、豪華リオ視察に都民から批判のブーメランが飛んできた上、積算根拠がずさんな総額6千2百万円の内訳を私が明らかにしてしまったのですから、追い込まれた宇田川さとし議会運営委員長(当時)は理事会も開かず口頭のみで中止の決定を伝達。このままお茶を濁されては堪らないと宇田川委員長に異を唱えたにもかかわらず、報道機関には「全会一致で決定」と発表されてしまいました。自民党東京都連メンバーが歴代委員長を務める東京都議会運営理事会は、反対の声があっても「全会一致」とし、議事録もなく、傍聴もさせず、都民を締め出す門外不出のブラックボックスです。小池百合子知事新体制のもとオリパバリ権検証も始まりますが、都議会の実態にも今後ぜひ注目して下さい。

## 製薬会社から350万円!? 都立病院顧問医を退陣に追い込む



### ●東京版『白い巨塔』にミス、禁断の白いブラックボックスを開示

今年5月、都立小児総合医療センター1顧問医がその職を追われました。製薬会社から年間で350万円余の報酬を受け取りながら義務である利益相反自己申告をしていなかったことを私が明らかにしたからです。当該

医師は都立病院長も歴任した都の局長級待遇で、外部機関である「日本発達障害ネットワーク」理事長も兼任。職員のみならず医療現場の規範となるべき言わば「権威」ですから、都や医師の言い分「単なる手続きミス」では済まされぬ大問題です! この医師は、東京都福祉保健局発行の『発達障害者支援ガイドブック』にて、報酬を得ていた製薬会社2社のADHD治療薬について、「副作用としては、消化器症状、頭痛、不眠などがありますが、一過性であることが多いようです。」と、副作用を軽視するかの表現にて投与を勧奨する著述をしていました。ここに私は東京版『白い巨塔』、精神医療の白いブラックボックスが存在するのでは?と考えています。足掛け1年コツコツと情報公開請求等で固めた揺るがぬ証拠をもって予算特別委員会で質し、都に手順違反を認めさせる地道な正攻法で結果を出すことができホッとしています。今後も発達障害がいかに疑われる子ども達への“早期介入”に名を借りた、向精神薬の安易かつ多量投与に警戒を促すと同時に適切なサポート実現を図ってまいります。

小児医療センター顧問  
謝礼700万円申告せず  
都が厳重注意  
日本発達障害ネットワーク  
理事長などを務める  
都立小児総合医療センター(府中市)顧問が、  
二〇一三、一四年度に製薬  
会社二社から講演料など約  
七百万円を受け取りながら、  
センターの規定で必要な  
申告をしていなかったこと  
が分かった。都は故意で  
はなくミスだったと判断、  
厳重注意をし、必要な手続  
きを取るよう指示した。  
規定は、厚生労働省の補  
規定は、厚生労働省の補

3月10日「東京新聞」朝刊

助金を得て研究をする  
際、一つの企業などから前  
年度に百万円を超えて受  
け取った場合に申告を要  
求している。九日の都議会  
予算特別委員会で、上田令  
子氏(かがやけ)の質問  
に、都側は「利益誘導など  
の弊害はなかった」と説明  
した。

## 全国初の劣悪猫カフェ 登録取り消し処分を実現!



### ●2兆円のネコノミクスに潜む福祉のブラックボックス

昨年11月、墨田区内の劣悪猫カフェの情報提供があり確認したところ、頭数・繁殖管理が放置され感染症蔓延寸前の劣悪な状態であることが判明。早速地域住民と協力して追跡調査を行うとともに福祉保健局に徹底検証を要請。同時に住民から都議会、墨田区議会、江東区議会へ陳情が提出され各議会で議論に。最終的に予算委での上田質疑がとどめとなり、本年6月16日、全国初の劣悪猫カフェに対する登録取り消し処分が下ることとなりました。この事例は新聞のみならずテレビでも大々的に報道されましたが、残念なことに氷山の一角に過ぎません。2兆円とも言われる「ネコノミクス」経済の闇は深く、悪質な事業者が後を立たないのです。生き物は「商品」ではなく「命」です。今後、当該業者はもちろん全ての動物取扱業者への指導監督強化を都へ強く求めます。



雑然とした約30㎡に77匹の猫が!

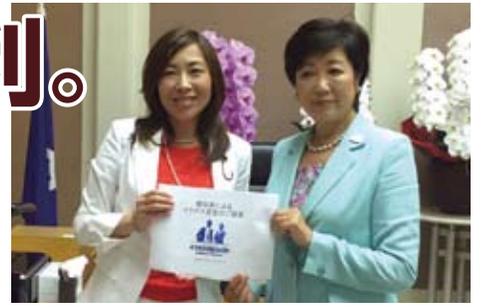


いずれのケースも上田の指摘、追及によって初めて明るみになった事案です。このような誰にも気がつかず都も議会も手を着けない禁断のブラックボックスは2万5千に及ぶ都政事業のそこかしこにあるはず。新しい知事はその真相究明に前向きとのことですので私の議会質疑もこれまで以上に効果を発揮することでしょう!!



# 一票の掛け算が組織選挙に勝利。 小池百合子新知事誕生！

～脱利権&徒党政治脱却を願い、いの一の一番で応援表明～



知事室にて。上田提言で知事も「イクボス宣言」へ！

## 起 きっかけは江戸川区内保育所視察

平成28年7月7日午前。私の携帯電話が鳴りました。電話の主は、早々に知事選立候補表明をした当時衆議院議員の小池百合子氏。以前、私が主催した道州制勉強会で講師を快諾頂いた旧知のご縁にて「保育園待機児童問題について上田さんの話を聞きたい。あわせて保育現場の視察を」との要望でした。選挙の話は微塵も出ませんでした。その落ち着いた声に知事選にける静かな決意と巨大利権に斬り込もうとする情熱を感じ、「小池さんを応援しよう！」と直感的に決めた瞬間でした。

区内の小規模認可保育所『にっこりハウス』を案内する手はずを整えた翌7月8日は、小池氏とともに報道陣が殺到。テレビや新聞報道となり、上田令子は小池候補の応援にいの一の手を挙げたという流れが生まれた日となりました。

地域政党『自由を守る会』においても、所属議員全員の賛同を得て小池氏応援を機関決定。野党統一候補がまだ登場していない7月9日のことでした。



熊本地震は液体ミルクを届けた知事  
児島史篤園長&園児とにっこり♪

## 承 無所属無党派議員の助太刀パワー

告示日前日の7月13日、善は急げ!と首都圏の地域政党や無所属無党派議員ら50余名に呼びかけ、小池氏本人を囲んでの『小池百合子を応援する超党派有志の会』を開催。マスコミの反応は、「組織のない無所属議員が応援したところで勝てるのか?」と冷めたものでしたが、国政政党に所属しない議員らが各区・市でのポスター貼りや5万枚の公選はがきを引き受けたことが、後の「ポイントグリーン」に象徴される無党派層取り込みの原動力となっていったのです。なぜならば、組織や国政政党頼みではない自力で当選できる実力派の地方議員が動けば、各自治体の無党派層が「この議員が応援するなら」と支持に動くからです。こうして一人ひとりが緑の旗印のもと急速につながっていったのです。↑



上田令子並びに自由を守る会メンバーが呼びかけた仲間らと当選を喜び集う

この間の与党は、「他候補を応援したら親族まで除名」といった憲法にも抵触する愚かな文書を出し、野党4党は出馬表明していた弁護士を辞退させて、ぽつと出てきたジャーナリストを統一候補とするなど、ともに有権者の感覚から乖離した既得権確保のための選挙に血道をあげていました。

「イクボス」とは…部下の仕事と生活の両立を配慮・応援して組織の業績もあげ、自らの人生も楽しむ上司のこと

な文書を出し、野党4党は出馬表明していた弁護士を辞退させて、ぽつと出てきたジャーナリストを統一候補とするなど、ともに有権者の感覚から乖離した既得権確保のための選挙に血道をあげていました。

## 転 候補者が良ければ選挙に来る!

小池氏の選挙戦は日を追うごとに、政治に失望し無関心だった層の心を捕らえ、街頭演説では組織的な動員をかけていないにも関わらず記録的な数の聴衆が集まっていきました。そして、運命の7月31日。政党や組織ではなく都民が選んだ小池百合子氏が、すべての区・市で1位となる記録的圧勝で当選を果たしました。59.73%の投票率は、知事選単独としては平成になってから最高を記録したことも注目すべき点です。つまり、住民の求める良い候補者が現れば、有権者は選挙に来るという当たり前のことが今回の選挙で実証されたのです。

## 結 紅一点で迎えた初の女性都知事登庁

東京都政史上初の女性知事就任は全国的なニュースとなり、初登庁はテレビの生中継を通して多くの国民が見守るところとなりました。慣例に反し都議会の議長、副議長、各党派代表は姿を現さず、出迎えは私の所属党派『かがやけ Tokyo』の3名のみ。女性都議が私だけだったことへの反響は大きく、地域の女性からたくさんの応援の言葉を頂戴しましたこと、改めてお礼申し上げます。

「勝って兜の緒を締めよ」という言葉があります。歴史的瞬間に立ち会えたことにさらなる使命感を感じ、ここから始まる都議会での闘いとその後には備え、自由を守る会と上田令子は、本来の二元代表制が機能する知事



都政史上初の女性知事の背中に  
歴史に消えた先達女性の労苦を見ました

として、都議会のドンに象徴される保守政界・官界・財界の「鉄のトライアングル」、バラマキ福祉に象徴される革新政党・官公労・左翼市民運動や民間労組の「裏のトライアングル」と一線を画す小池新知事と強く連帯を図り、豊洲、オリパラ利権等、都政改革を進めてまいる所存です。引き続きご支援・応援くださいますようお願い申し上げます。